

# 17-2

## 人気がある仕事



活動

クラスで、<sup>しょうらい きぼう</sup>将来希望する仕事<sup>しごと</sup>  
の調査<sup>ちようさ</sup>をして、発表<sup>はっぴよう</sup>する。

かたち



時間

### せつめい編

(文-64 かどうか / 疑問詞...か)

文-67 V(よ)うとおもいます

活-07 <sup>いこうけい</sup>意向形

### 談話の技術

<sup>はなし こうせい</sup>話を構成する

### 準備する物

### 使うことば

<sup>しょうらい</sup>将来、<sup>かいはん</sup>エンジニア\*、<sup>なる</sup>なる、<sup>かいしゃいん</sup>会社員\*、<sup>グループ</sup>グループ\*、<sup>いちばん</sup>いちばん、<sup>しごと</sup>仕事、<sup>せいと</sup>生徒、<sup>にん</sup>~人、  
<sup>ばんめ</sup>~番目\*、<sup>それから</sup>それから、<sup>そして</sup>そして、<sup>まだ</sup>まだ、<sup>き</sup>決める、<sup>こうむいん</sup>公務員、<sup>いしや</sup>医者、<sup>デザイナー</sup>デザイナー\*、<sup>せんしゆ</sup>スポーツ選手\*、  
<sup>かんごふ</sup>看護婦、<sup>べんごし</sup>弁護士\*、<sup>つうやく</sup>通訳\*、<sup>うんでんしゆ</sup>運転手、<sup>コック</sup>コック\*、<sup>スチュワーデス</sup>スチュワーデス\*  
<sup>にんき</sup>人気がある

## 手 順

1. 7. 8人のグループに分かれる。
2. グループ内で、一人一人が<モデルテキスト>(1)のように、自分の希望する仕事を発表し、グループのみんなの発表結果を記録する。
3. それぞれが、自分のグループの発表結果を、<モデルテキスト>(2)のようにまとめて書く。
4. グループの代表が、書いたものを読んで、グループの発表結果をクラスに報告する。
5. 2. 3人の生徒が前を出て、発表された仕事と人数を、黒板に書いて、クラスで人気のある仕事の順位を調べる。

## モデルテキスト

### (1) 発表

A: わたしは、しょうらいエンジニアになろうおもと思っています。

B: わたしは、しょうらい先生せんせいになろうおもと思っています。

C: わたしは、しょうらい会社員かいしゃいんになろうおもと思っています。

D: しょうらい何なにになるか、まだきめていません。

E: しょうらい何なにになるか、わかりません。

### (2) 報告

わたしたちのグループでいちばんにんき人気しごとがある仕事は、エンジニアです。  
エンジニアになろうおもと思っている生せいとは、3人にんいます。2ばん目めに  
人気にんきがある仕事しごとは会社員かいしゃいんで、2人ふたりいます。それから、こうむ員いんに  
なろうおもと思っている人ひとと、先生せんせいになろうおもと思っている人ひとが、1人ひとりずつ  
います。そして、何なにになるかまだきめていない人ひとが、1人ひとりいます。

## バリエーション

- (1) 調査をするまえに、学習者に人気がある仕事を予測させ、調査したあとで、予測が当たったかどうか調べる。

### 先生へ

- 男女で希望する仕事に差が出る場合もあるので、男女比が同じクラスでは男子生徒と女子生徒で分けて統計をとってもいい。
- 人数を数えるときに、下のように「正」の字を使って、数えることを紹介してもよい。



- 職業名には母語を使わせてもよい。
- 日本の青少年に人気がある職業には、会社員、技術者、公務員、スポーツ選手、看護婦、教師、画家やデザイナー、弁護士や医者などがある。(『日本の青少年の生活と意識』総務庁青少年対策本部編 1997年参照)